

Mi-com

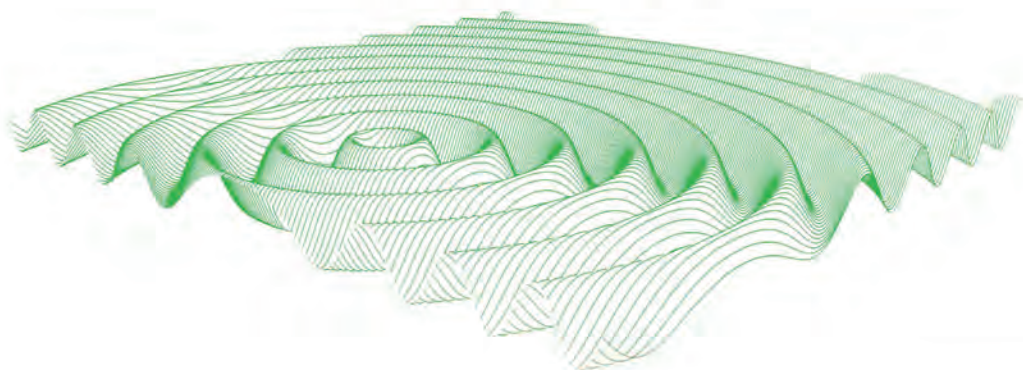
武蔵工業大学後援会誌

創刊号

1989-12



ごあいさつ



準備のないところに 偶然はあり得ない

武蔵工業大学後援会会報の創刊号発行に当たりご挨拶申し上げます。

昭和63年11月5日に本後援会の設立世話人会が開催され、世話人各位と大学当局の熱のこもったご努力のおかげで昭和63年12月16日には後援会設立総会開催の運びとなり、在学生の父兄を会員とする武蔵工業大学後援会が発足致しました。

設立総会後の第1回評議員会の議決により、小生が初代会長に任命され、その大役を担うこととなりました。その設立趣旨に則り、充実した後援会活動を実行すべく、微力ながら全力を尽くす所存でございますが、後援会会員の皆様および大学関係者の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本会の目的は大学の教育方針に則り、ご父兄と大学との連携を緊密にして、子弟の修学、学生生活の向上を助け、その他大学を後援して、その発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることにあります。そしてこれらの目的を達成する為に次の事業を行うことになっております。

- (1) 大学の正課外教育活動に対する援助
- (2) 学生生活に対する援助
- (3) 大学と父兄との連絡

武蔵工業大学後援会 会長
金原 淑郎



- (4) 会員相互の親睦
 - (5) その他本会の目的達成に必要な事業
- などであります。

“準備のないところに偶然はあり得ない”という言葉があります。今後のハイテクノロジー社会の益々の発展を期するためには、優秀な技術者の養成という準備が極めて重要であることは論をまちません。本後援会の活動が何がしかの準備をすることに繋がれば幸いに存じます。そうして武蔵工業大学で学んだ方々が、多くの実りある偶然を引き起こして頂くことを期待しています。

平成時代の幕開け、そして武蔵工業大学創立60周年という記念すべき年に本後援会が初年度の事業の展開を開始しました。本後援会の益々の発展のため、会員の皆様方の絶大なるご協力をお願い申し上げます。本会はあくまでも任意加入であります。在学生ご父兄全員の方のご理解を得、入会頂くことを念願しており、そのための活動も続けてまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援を重ねてお願い申し上げます。

武蔵工業大学 後援会の発足にあたって

本学に後援会が発足されるに当たり大多数の父兄の方々のご理解が得られたと聞いており、またそれまで準備に当たられた世話人の方々、その後、役員をお引き受けされておられる方々に深く感謝いたします。現在、後援会は発足の趣旨に沿って順調に運営がされていると存じます。大学としましては本学創立60周年の記念事業に後援会と工業会(同窓会)共催の講演会および父兄会を開催したり、学生主催の諸事業を計画して協力されており、かつ記念事業の費用の一部として多額のご寄付をいただき厚くお礼申し上げます。

私は9月1日に学長に任命され、本学の新しい教育のあり方について検討、計画中であります。その中でも課外活動の充実が重点課題の1つであり、学生部を中心に改善を検討しております。そもそも現在の大学の教育制度は米国式の移入で、単位制度と人格形成の2本柱からなり、極めて立派な内容であり、米国ではこの制度が多く取入れられておりますが、日本では、制度は取入れても内容が伴っていないのが現状です。このことは国公立を問わず大差がないのが現状です。

私はこの制度の内容を充実させることを第1の目

武蔵工業大学 学長
古浜 庄一



標としております。特にこの中でも人格の形成は最重要な課題であり、社会的にも大学教育に要求されております。

中学・高校における受験勉強は、自分だけが勉強して高い得点を取りさえすればよい、というような自己中心主義的な考えを助長する傾向があります。人のためとか、社会全体のために他の人達と協力して立派な仕事をするための実行力の養成が、今ほど教育に要求されている時はないでしょう。

21世紀の技術者が、目先の欲望を満すことのみを考えていたら、地球上に人間は住めなくなります。将来の技術者は単に望まれた製品を造るのではなく、住みよい地球を支えることを念頭に置いた発想の転換が必要です。多くの人に好まれ、協力の得られる社会性をもった、心の豊かな人間形成を目標とした、大学教育が社会から強く望まれています。

本学は、他大学に先がけて、この目標達成の道を開く覚悟であります。そのために今後とも後援会のご協力を切にお願いいたします。

課外活動において 自由な発想を育てる

このほどの武蔵工業大学後援会の発足にあたり、心からお祝い申し上げます。

学生は、人生において自分自身で一番自由に思考でき、また、心身ともに成長する重要な時期にあつて、1人ひとりがいろいろな発想から、将来の社会生活への準備を進めています。

我々学生団体連合会ではこの方法の一つとして課外活動を通じて交友の輪を広げ、親睦を深めています。

武蔵工大は工科系の単科大学としては課外活動が非常に活発で大学教育の目的である人間形成をはかる上で大変大きな成果を上げています。

これらの活動のため、各団体ではアルバイト等で

学生団体連合会 執行委員長
(機械工学科3年) 晴沢 弘人



活動の費用を捻出したり、大学からも援助をいただいておりますが、各団体の活動を満すまでにはいきません。

このような状況の中で後援会が発足し、学生の課外活動に多大な援助をいただけることに対し会員一同深く感謝しております。

今後とも正課活動は勿論、正課外活動を通して一層努力して人格の向上をはかりたいと思います。

後援会の皆様のより深いご理解とご支援をお願いいたします。

武蔵工業大学後援会の 設立経過について

◆ 昭和63年11月5日

武蔵工業大学後援会の設立世話人会の開催
後援会会則案、組織図、役員候補者、その他の事項について検討

◆ 昭和63年12月16日

設立総会

後援会設立趣旨書および会則の承認

会長および会計監査の選出承認および評議員の委嘱

評議員会

後援会の理事、副会長および顧問の委嘱

後援会の会費について承認

理事会

イ) 後援会入会手続方法について、ロ) 大学への事務委託方法、ハ) 事業計画・予算計画、ニ) 理事・評議員選出基準等の検討

◆ 平成元年1月

後援会関係の事務手続等開始

口座の開設、会長・後援会の印作成

◆ 平成元年1月27日

会長名で大学に後援会としての後援事業に関する助言の依頼を行う

◆ 平成元年2月1日

在学生3,299名(工学部1年生～3年生、大学院1年生)の父母宛へ後援会の設立について通知を発送

◆ 平成元年3月2日

理事会

組織(新年度からの理事、評議員の選出人数)、運営(会議日程)事業、予算等について審議を行う

◆ 平成元年3月3日

新年度入学予定者1,368名の父母宛に後援会への入会案内を送付(手続〆切3月27日)

◆ 平成元年3月7日

学長名で会長宛に後援会から大学への「後援会事業について」の文書が提出される

◆ 平成元年3月14日

大学へ会長から次の件を依頼する

(1)後援会の事務の委嘱について

(2)後援会の理事・評議員候補推薦

◆ 平成元年3月31日

在学生3,626名(工学部3,357名、大学院269名)の父母宛に後援会への入会案内を送付(手続〆切4月28日)

◆ 平成元年4月3日

平成元年度入学式において金原淑郎後援会会長が来賓として祝辞を述べる

◆ 平成元年5月2日

後援会への入会者1,887名(在学生との比40.3%)となる

◆ 平成元年5月

大学から提出された1年生の評議員候補者の20名の方々へ評議員就任の依頼を行う。

◆ 平成元年5月29日

理事会

評議員会への提出議案について検討

■武蔵工業大学後援会役員・評議員氏名

役職	父 兄		子 弟	
	氏 名	出身地	学 科	学年
会 長	金 原 淑 郎	愛 知 県	機 械	2C
副 会 長	井 出 正 男	東 京 都	電 気 電 子	3A
副 会 長	堀 越 立 也	神 奈 川 県	電 子 通 信	3
会 計 監 査	今 岡 正 雄	神 奈 川 県	電 気 電 子	3B
会 計 監 査	府 川 好 夫	神 奈 川 県	土 木	3
理 事	鈴 木 重 之	神 奈 川 県	建 築	3
理 事	斎 藤 久 雄	東 京 都	土 木	2
理 事	塩 原 武 男	東 京 都	経 営	2A
評 議 員	田 中 義 浩	東 京 都	機 械	2B
評 議 員	中 條 恒 男	東 京 都	機 械	2C
評 議 員	海 野 昌 一	東 京 都	機 械	3A
評 議 員	小 川 武 靖	神 奈 川 県	電 気 電 子	2A
評 議 員	荒 井 克 史	神 奈 川 県	電 気 電 子	3B
評 議 員	渡 辺 和 男	東 京 都	電 子 通 信	2
評 議 員	前 野 輝 之	東 京 都	電 子 通 信	3
評 議 員	松 尾 重 明	東 京 都	建 築	2
評 議 員	高 瀬 洋	神 奈 川 県	建 築	4
評 議 員	藤 井 勝 治	神 奈 川 県	土 木	2
評 議 員	高 橋 勝	神 奈 川 県	経 営	2A
評 議 員	布 川 新 二	東 京 都	経 営	2B
評 議 員	阿 部 和 夫	東 京 都	機 械	1A
評 議 員	鈴 木 惇	東 京 都	機 械	1A
評 議 員	松 沢 賢 治	東 京 都	機 械	1B
評 議 員	安 藤 健 爾	愛 知 県	機 械	1C
評 議 員	大 杉 武	神 奈 川 県	機 械	1C
評 議 員	奥 山 彰 宏	神 奈 川 県	機 械	1C
評 議 員	岩 瀬 由 哲	東 京 都	電 気 電 子	1A
評 議 員	中 村 誠 司	東 京 都	電 気 電 子	1B
評 議 員	村 口 弘 明	神 奈 川 県	電 気 電 子	1A
評 議 員	相 場 敏 彦	神 奈 川 県	電 気 電 子	1B
評 議 員	水 野 政 博	宮 城 県	電 子 通 信	1
評 議 員	吉 田 和 孝	神 奈 川 県	電 子 通 信	1
評 議 員	内 田 正 光	福 岡 県	建 築	1
評 議 員	赤 松 和 人	広 島 県	建 築	1
評 議 員	上 谷 義 介	埼 玉 県	土 木	1
評 議 員	早 川 源 之 進	北 海 道	土 木	1
評 議 員	堀 尾 浩 司	東 京 都	経 営	1A
評 議 員	鈴 木 亮 三	愛 知 県	経 営	1B
評 議 員	外 山 恭 平	東 京 都	経 営	1B

◆平成元年6月17日

学内施設見学会(役員、評議員18名参加)

評議員会

平成元年度の事業計画案および予算計画案の承認
大学幹部と後援会役員、評議員との懇談

◆平成元年7月25日

工学部1年生～4年生の未加入の父母宛に再度入会の案内を発送

◆平成元年8月26日～10月14日

大学と共催で「父兄との連絡会」を開催(全国15ヶ所)



▲設立総会



▲平成元年度評議員会

平成元年度 事業計画および予算

武蔵工業大学後援会の平成元年度評議員会が平成元年6月17日に大学の第一会議室において31名の出席のもとに開催されました。

金原会長の挨拶につづいて、役員および評議員の紹介が行われ、平成元年度事業計画案ならびに予算案等について提案説明が行われました。その後、この説明にもとずいて真剣な討議がなされ採決の結果、平成元年度事業計画と予算を以下の原案通り可決しました。

事業計画

[1] 事業

1. 正課外教育援助

学生の正課外活動のより活性化をはかるため、学生団体および学生行事等に対して援助を行う。

(1) 課外活動援助

学生団体連合会援助

(学団連執行委員会、体育会、文団連、MIT祭実行委員会、放送会、吹奏学団、新聞会)

一般援助

(同好会、研究会、対外活動、公開企画、情報活動、用具整備、特別企画、60周年協賛企画)

(2) 学生行事援助

MIT祭、体育祭、水泳大会、ソフトボール大会、ディベートコンテスト、特別行事等に対する援助

(3) 学生顕彰

課外活動、研究会等における顕著な成績やボランティア活動に対する顕彰

(4) 学生生活指導

リーダ教育、顧問・技術指導者の合宿指導、留学生の交流指導、研修・見学指導等に対する援助

2. 父母との連絡会への援助

大学と共催し、全国各地において年1回大学と父母との連絡会を開催する。

今年度は東京を含め全国15ヶ所で開催する。

3. 大学行事協力

大学の主催する行事(60周年記念行事、新入生歓迎行事)への協力。

4. 学生厚生援助

学生生活の厚生に係わる援助。

5. 会報の発行

後援会の会報誌を年1回発行し、会員相互の親睦をはかる。

[2] 運営

1. 会議

理事会 3回(予定) / 評議員会 1回(予定)

■武蔵工業大学後援会入会者数

平成元年11月30日現在

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	大学院	合 計
入会者	815	446	501	497	101	2,360 ^(名)

予 算

平成元年5月2日現在

科 目	平成元年度予算	備 考
(収 入 の 部)	(円)	
1. 会 費	59,620,000	(注) 新入生、在学生
2. 雑収入	0	
収 入 の 部 合 計	59,620,000	
(支 出 の 部)		
事業費	32,500,000	
3. 正課外教育援助費	22,400,000	* 援助の内訳は別掲
4. 父兄連絡会費	2,500,000	全国各地で年1回、大学と共催
5. 大学行事協力費	2,500,000	60周年行事、新入生研修
6. 学生厚生援助費	2,800,000	厚生設備等への援助
7. 会報発行費	2,300,000	後援会広報誌の発行
運営費	5,620,000	
8. 事務費	1,500,000	アルバイト代、事務委託費、消耗品費
9. 会議費	500,000	役員会、評議員会
10. 印刷・通信費	2,120,000	通知、案内の郵送、印刷代
11. 旅費・交通費	800,000	地方評議員の旅費
12. 備品費	200,000	後援会関係の備品
13. 雑 費	500,000	
予備費	1,500,000	
特別会計	12,000,000	
14. 後援会基本積立	10,000,000	将来の事業拡大のため
15. 記念事業費積立	0	大学創立記念事業協力
16. 学生事故対策援助費積立	1,000,000	学生事故対策として5百万円まで積立
17. 特別課外活動援助費積立	1,000,000	大規模な対外遠征援助1千万円まで積立
次年度繰越金	8,000,000	

注. 平成元年5月3日以降に入会された方の会費収入は次年度繰越金に組入れます。

* 正課外教育援助費の内訳および援助対象

	平成元年度予算	援 助 対 象
正課外教育援助費	22,400,000 (円)	
課外活動援助費	18,000,000	
学団連援助金	(11,000,000)	学団連執行委員会、体育会・文化団体連合会各部 MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
一般援助金	(7,000,000)	同好会、研究会、対外活動、公開企画、情報活動、 用具整備、特別企画、60周年共催企画
学生行事援助費	2,300,000	体育祭、MIT祭、水泳大会、マラソン大会、ソフトボール、 ディバートコンテスト、新歓祭、フェスティバル、特別行事
学 生 顕 彰 費	100,000	ボランティア、課外活動、課外研究
学生生活指導費	2,000,000	リーダー教育、学生団体の顧問・技術指導者の合宿指導、 留学生の交流指導、研修・見学指導

見てくれ、聞いてくれ、 これが私たちの 大学生活なんだ!!

川村 暢志…東京都出身
電気電子工学科3年
血液型O型
学生団体連合会の副執行
委員長を務める武蔵工大
のニューリーダー。
吹奏楽団所属



稲田 真納…鳥取県出身
機械工学科2年
血液型O型
一見おとなしそうに見える
けど、実は大らかな性
格の持ち主。
アウトドアライフ同好会
所属



吉田 幸…神奈川県出身
電子通信工学科1年
血液型B型
通学に5時間を費やして
元気に通うガンバリ屋。
テニスクラブ同好会所属



大学に入学するまでは、本人をはじめ、家族の誰もが受験突破をめざして規則正しい生活を心がけていたのに、受験に合格し、晴れて大学生になったとたんに、自由気ままな生活三昧。もちろん本人がしっかりと自己管理していれば何の問題もないのですが、地方から我が子を手放す両親たちにとっては、そんな生活ぶりが気が気でないというのも当然のことでしょう。そこで本誌編集部は、そんな父兄の皆さんに、「あまり心配しないで!!」とばかりに、6人の学

吉村 博司…神奈川県出身
経営工学科4年
血液型A型
何事にも全力投球を心がける性格が、常に人の心を引き付ける良き先輩。
バレーボール部所属・
前年度体育会役員・
大学院進学予定



横山 文秋…長野県出身
建築学科3年
血液型A型
自分自身を見つめ、独自の道を切り開いていこうとする努力家タイプ。
放送会所属・部長



早川 定佐…北海道出身
土木工学科1年
血液型O型
A型に似たO型タイプ。
曲がったことが嫌いな好青年。
潜水科学研究所所属



生たちに集まっていたき、普段の暮らしぶりや、大学生活のこと、そして将来の夢などについて、真剣に語り合ってもらいました。「親の心子知らず」とはいえ、自分自身に結構シビアな考えをもっている学生たち。意外な発言に随分と感心させられた座談会の模様を掲載いたしましょう。





独り暮らしだからって、 チャランポランな生活はしてないつもり。

司会 今日皆さんに集まっていたいたのはほかでもない、皆さんの普段の生活ぶりや、友達のこと、また将来に描いている夢なんかについてそれぞれザックバランに伺いたいと思ひまして…。少しの間おつき合ひください。早川君は今年入学したばかりで、まだ慣れないことも多いと思ひますけど、とりあえず独り暮らしを始めてみて、いかがですか？

早川 そうですね。僕はマンションに住んでいるんですけど、今のところ特に不便も感じてないですから、それなりに快適に暮らしているって感じですね。

稲田 私の場合は、浪人のときすでに鳥取の実家からでて、広島の前備校に通っていましたが、独り暮らしに慣れていたというか、東京に出て来てからも、わりとノン気に過ごしています。

横山 僕は現在姉と一緒に暮らしているから、普段の家事なんかも、これといって不便を感じませんね。ただお互いに用事があれば、一人で食事を作らなければいけなくなる。それが試験前だったりすると、つくづく親元にいればなんて、都合の良いことを考えます。それに、親と離れて暮らしているから、自宅通学の人からよく「好きなことができていいね」なんて言われますけど、本当の所は、離れて暮らしているぶん、「お金を出してもらっているし、来年は就職のことも考えなければいけない」って、かえってプレッシャーを感じてたりするんですよ(笑)。

司会 さすが3年生。自覚が出てきてますね。ところで、ちょうどいま横山君の話の中で、自宅通学の人のお話が出ましたが、吉村君は確か自宅通学ですね。やっぱり、独り暮らしをしている友達を見て、羨ましいと思ひますか？



吉村 そうですね、たしかに憧れることはありますが、結局のところ食事、洗濯、掃除などで自分の時間が取られてしまうのでそんなに思ひません。いま、藤沢の自宅から通っていて、通学に1時間ほどかかりますが、その時間は本を読んだり音楽を聞いたりして、結構充実した時間を過ごしていますから…。

川村 僕もそう思ひますね。そりゃ「家」っていうのは、いつも家族と一緒にいるわけだから、たまには一人のスペースが欲しくなったりもしますが、これがまたいつも一人となると、ちょっと煩わしい問題が出てきますね。

司会 その点について吉田さんはどう思ひますか？あなたの場合は、どちらかといえばアパートを借りてもいいほどの遠距離通学のようなのですが…。

吉田 そうですね。(笑) 私の場合は、自宅が隣の神奈川でも通学に片道約2時間半、往復で5時間近くかかりますから。でも、先ほど吉村先輩もおっしゃっていたように、通学時間は使ひようによってはいくらかでも楽しく使えるもので、本を読んだり、試験前であればテキストを見たり、途中で友達と会えばお喋りしたりして…。

司会 独り暮らしで困ることはなんでしょうか。

稲田 病気になったときなどやっぱり不安ですね。病気でも食事は自分で作らなければならないし…。もうそんな時は這うようにしながら、なんとか作って、あとはひたすら寝てるだけです。大学に入ってから4～5回そういう時がありました。もちろん心配させるといけないので、親には言いませんでしたけど…。(一同真剣にうなづく)



司会 何よりも健康第一。親にとっては、そんな話が一番悲しい…。早川君は？

早川 僕の場合はラッキーと言うか、今のところカゼ引いて熱にうなされたこともないですし、仕送りなどを含めて困ったこともないですね。

趣味とかクラブのためのアルバイト。

生活難は、今のところ経験なし。

司会 今、仕送りの話が出ましたが、足りなくなったことなどはありますか？

早川 それはないですね。一応計画的に使っていますし、ただ、クラブとか趣味に必要なときだけアルバイトをしています。月4～5万円位かな？

司会 皆さんは何かアルバイトしていますか？

横山 僕の場合は、専攻学科の勉強やクラブで時間を取られてしまうので、バイトはできないですね。なにしろ授業のない日でも、何だかんだと大学に来ることが多いですか

ら。まあやるとすれば、夏休みぐらいですね。

吉村 僕もバイトをするとすれば長期の休みを利用して集中的にやる方ですね。もっとも週3回のクラブ活動と体育会で役員をやっていた関係上、そういった形でしかバイトできないのが現状なんですけど。

吉田 私は皆さんご承知の通り、通学に時間がかかるので、週2回家庭教師をやるくらいです。(笑)

稲田 私も長期の休みにですね。

司会 親の立場になると、「せっかくの休みくらいバイトしないで早く帰ってきなさい」と思っているのではないのでしょうか。

稲田 まあ、親の立場からすればそうでしょうね。でも地元に戻っても、仲のいい友達帰ってなかったりするので、つまらないですから…。でも夏と冬とで年に2回は必ず家に帰りますし、今年の夏は20日間ぐらいいたかな。短いときなど3日くらいなんて時もありますけど…。

司会 そりゃ本当のトンボ返りですね。(笑)

何もオシャレになろうとは思わないけど、最低限の身だしなみは常識だね。

司会 ところで、今日ここにいる皆さんは、とてもこざっぱりとした格好をしていて、学生として、とっても好感が持てますね。そこで少し身だしなみについて伺いますが、まずは女性陣から。美容院などにはよく行きますか？

稲田 私の場合は、ほとんど行きませんね。そうですね、1～2ヵ月に1回カットするぐらいかな。あとは自分で手入れしています。

吉田 私もそんな感じかな。カットだけで、大体1ヵ月に1回ですね。

司会 それでは、男性陣は？

早川 僕は、1ヵ月半から2ヵ月に1回ですね。

吉村 僕は美容院へ、2ヵ月に1回の割合で。



横山 僕はね、髪がのびるのが早いので、1ヵ月に1回は行かないと、もうバサバサ。

川村 僕なんかは、美容院で1ヵ月半ごとにバサリって感じですね。

吉村 大体僕ら武蔵工大の男連中ってというのは服装とか、身だしなみについてはあまり気にしないですね。これが例えば上智大学とか青山学院とか、女子学生が多いところであれば、もう少しファッショナブルに決めるんだろうけど。うちの研究室の人たちなんか平気で短パンとか作業服で歩いてたりで、色気も何もないですね。

(身を乗り出して解説する吉村くん一同爆笑)

難しい学部だけに、
みんなが意欲的に取り組んでいるんだね。

司会 今度は皆さんが普段どのような勉強をしているのか伺いたいと思いますが。

横山 僕は建築学科ですから、勉強の内容を一言で言えば、例えばビル建築に関わるすべての過程について学習しています。設計とか構造力学とか、また環境問題について

とか…。実際に入学してみて気がついたんだけど、やっぱり非常に守備範囲が広いというか、学ばなくてはならないことが多いことに驚きましたね。それにここでは1年の時から教養課程よりも専門科目を重視していて、製図なんかも、入学早々から描き始めるんですね。こういった点では、早稲田とか他の大学の建築学科よりもカリキュラム的に結構きついものがありますね。まあもっともそのおかげで早い時期に専門的な知識を修得できるわけですから、3年になった今では、わりと余裕を持って勉強してますけど…。

早川 僕は土木工学科専攻なんですけど、まだ1年生なので、今のところ教養課程が中心ですから、本格的な勉強というのはこれからですね。

司会 吉村君はもう4年生ですけど、経営工学科っていうのは、どのような勉強をしているのですか？

吉村 そうですね、まあ簡単に言ってしまうと、企業を円滑に、かつ成長を遂げながら運営していくための広範囲な経営のノウハウについての勉強をしています。

川村 僕は、電気電子工学科なんですけど、ここでは原子力発電などにおいて、その設備を作ったり、動かしたりするための理論を学んでいます。かなり高度の知識力が要求されるわけですが、それだけ将来の産業界に担い手として期待されているわけですし、自分で言うのもなんですが、かなり意欲的に取り組んでいますね。将来は発電などを実際に作る側ではなく動かす側として活躍したいと思いますね。

吉田 私は電子通信工学科で、自分でやってみたいものは音響関係ですが、早川君と同じ1年生ですから、専門的な勉強というのはこれからです。

稲田 私も機械というものがどういうものか、実際に分かって機械工学科に入ったわけではないのですが、ただ漠然と興味を持った



っていうのかな、工業用ロボットなどには関心があったから…。今、エンジン関係とかさまざまな力学の基礎を学んでいます。さすがに、難しい～という感じがですね。

クラブやサークル活動は、 「友達」というかけがいのない財産の宝庫なんだ。

司会 今日ここに集まっていた皆さんは、全員がクラブやサークル活動に参加しておられますが、やはりやって良かったと思うことはありますか？

吉村 ええ、断然そう思いますね。僕はバレーボール部に入っているんだけど、やっぱり入っていればそれだけでいろんな人と出会えるわけだし、僕自身、クラブの先輩たちにいろんなことを教わりながら、物事を柔軟に考えられるようになったから…。

吉田 私もサークルに入って良かったと思っています。もし入っていなかったら、「友達」というのが学科だけの付き合いになってしまうし、やっぱり女の子は女の子だけで固まってしまう方だから、男の子と話すきっかけはないままでいたでしょうね。…その点サークルに入っていれば気軽に話もできるし、サークルを通じて知り合った友達

の、そのまた友達の人とかとも知り合えたりして、そんな広がりがある自分にとって大切な財産のような気がして非常に嬉しいです。

早川 僕はスキューバ・ダイビングをやっているんですが、このサークルに入ってつくづく連帯感みたいなものを覚えましたね。と、いうのも、海に潜るというのはとても孤独感に襲われるんですが、そんなときには先輩がきっちりとリードしてくれるんですね。何しろ一歩間違えば直接命に関わることにともなりかねませんから、先輩は後輩の面倒をしっかりと見てくれて、後輩はまた、先輩の指示に従う。自然と連帯感が生まれるわけですね。

稲田 私の場合は、アウトドアライフ同好会に入っているんですけど、夏にキャンプに行ったり、行楽の季節に野外でバーベキューをしたり、自然を通して人と触れ合えるのが快感ですね。学外の人たちと合同で行くこともあり、やっぱり大勢の人たちと知合えるっていうのが魅力です。親友っていうのも、こうしたクラブとかサークル活動を通じて生まれるものなのかも知れませんね。

川村 そうですね、僕なんかはたしかに学科のクラスでの友達もいるけど、実際に交流している時間としては、吹奏楽団の友達の方が断然多いわけで、親友というか、友達といえば自然に吹奏楽団の連中になりますからね。やっぱり毎日練習で顔を合わせますから、悩み事等も顔を合わせるだけでお互い分かっってしまう。

川村 そうですね。すぐにバレちゃう。(笑)

吉田 私の場合はサークルの友達と学科が同じことが多いので、クラスの友達とサークルの友達とみんな一緒に仲良しですね。

稲田 私は学科が機械なのであまり女の子がいないせいもあり、親友ということになれば、どうしても地方から一緒に出てきた人になります。付き合いも長いですし、学校





の友達とは会えばもちろんお喋りしたりしますけど…。

早川 僕はまだ入学して半年ぐらしか経ってないですから、あまり友達も多くないのですが、どちらかといえば、クラスよりもサークルの同級生に親友と呼べる人がいますね。サークルの打上げか何かで、アルコールが入ったりするとお互いに腹を割って話し込んだりするので、自然に情が深まりますね。今、二人ほどそういう友達がいます。そういう友達とは一生付き合っていけるんでしょね、きっと…。(一同うなづく)

武蔵工大で学んだ知識を、 社会で存分に発揮してみたい。

司会 吉村君は来年大学を卒業するわけですが、進路はもう決まっていますか？

吉村 そうですね、本来なら就職の年なんですけど、まだはっきりとした未来像が見えてこないで、もっと自分を見つめ直す意味で大学院に進むことに決めました。かりに今、就職を決めたとしても、自分が納得のいかないところだったら転職ばかりしてしまうでしょうから…。じっくりと自分というものを見極めたうえで、能力が存分に発揮できるところに就職できればいいなと思っています。

横山 僕は再来年就職なんですけど、できれば、今勉強していることを生かすためにも、建築関係の分野に進みたいです。親の仕事もこの分野ですし、なんといっても、自分でこの道に進もうと決めて、大学に入ってきたわけですから…。

川村 やはり僕は再来年就職なんですけど、出来れば企業の研究室などの開発部門に入れたらいいなと、思っています。とりあえず大学で学んだことが無駄にならないように、それが生かされる仕事につきたいですね。

早川 僕はまだ1年なんて将来のこととなるとまだまだ漠然としていますけど、今のとこ

ろ実家も土木関係の仕事をしているので、こちらで5年ぐらいい就職して経験を積んでから、家業を継ごうかなと思ってます。そうなれば当然技術面ばかりじゃなく経営面など、幅広く勉強しなければと、考えているわけです。

吉田 私もやっぱり、まだ漠然としか考えてないのですが、音響関係の仕事がしくてこの学科を選んだので、今の勉強が活かされればと思っています。

稲田 私の場合、機械ならばこれからいろいろ選べる範囲が広いだろうと思って、ここに進んだわけです。ですからとりあえず今興味のある勉強を続けて、いずれ時期が来たら自分に最適な進路に進もうかと考えています。

司会 いろいろと個人差はあるようですが、さすがに皆さん将来について真面目に考えているという点で一致しているようですね。本当のところ、もっと「なんとかなるさ」的な答えが返ってくるのではないかとも思っておりましたが、正直なところ、非常に感心しました。それでは、最後に親元を離れて暮らしている3人に、それぞれのご両親に元気な様子をメッセージしていただきましょうか。では、横山君からどうぞ。

横山 ちゃんと4年で卒業するから、あまり心配しないでください。

稲田 便りを出さないうちは、いたって元気でやっていますから、ご心配なく。今度冬休みに帰ります。

早川 現金さえ送ってくれば、大丈夫だから…。(一同爆笑)

司会 それでは、皆さんの今後の活躍を大いに期待しつつ、この座談会を終えたいと思います。今日はどうもありがとうございました。





「武蔵工大生・リサーチ'89」

学生たちが、今、何を考え、どのように生活しているか、ご両親にとって

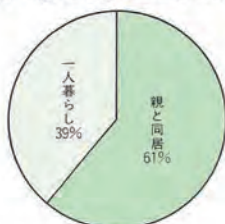
最も気になるところでしょう。そこで武蔵工大生の日常・大学生活の実態や将来に対する意識を知るために、1～4年生の約500名を対象にアンケートを行いました。

ここに、その結果の概要をご紹介します。

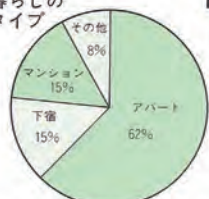
〈日常生活編〉

まずは、一般的な武蔵工大生の「暮らし」についてまとめてみましょう。

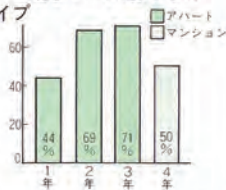
現在、学生の生活形態は親と同居61%、一人暮らし39%となっています。そのうちの39%を占める一人暮らしの学生を100とし、住居タイプを調べたところ、以下のような結果となりました。



■一人暮らしの住居タイプ



■学年別・一番多い一人暮らしの住居タイプ

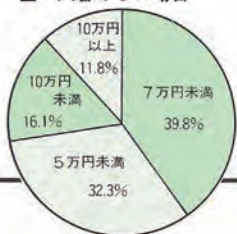


比較的に自由な暮らしができ、家賃も手頃なアパートがポピュラー。また、この調査結果を学年別にみても次の1年生の下宿の割合は32%となっており、1位のアパートを追っています。

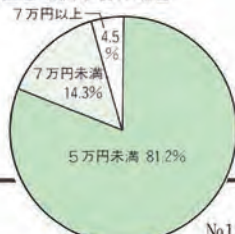
Q 1ヵ月のお小遣いはどのくらいですか？

この調査では、一人暮らしをしている学生の場合は家賃・生活費・光熱費などを差し引いた額で算出（ただし外食等の食費は含む）しています。一人暮らしと自宅通学とに分けて比べてみましょう。

■一人暮らしの場合



■自宅通学者の場合

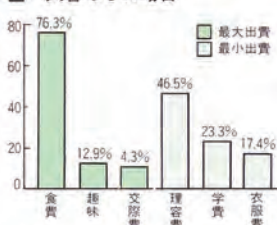


一人暮らしの学生の1ヵ月のお小遣いには、ばらつきが見られ、7万円未満がトップです。

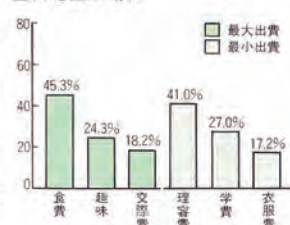
自宅通学者の場合5万円未満が圧倒的に多く、7万円未満まで何と9割以上を占めています。

次に、主な使いみちについて比較してみましょう。

■一人暮らしの場合



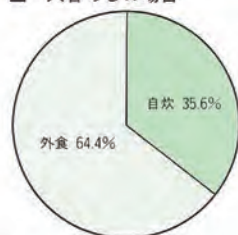
■自宅生の場合



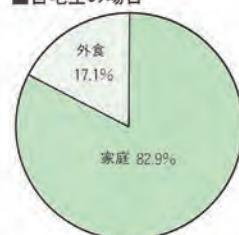
使いみちとしては、自宅通学者・一人暮らしともに食費がトップ。学生のエンゲル係数はきわめて高いといえます。最もお金を使わないのが、理・美容費。学費は親が払っているようです。最小出費の結果は、女子が少ない工業大学らしいものではないでしょうか。

Q あなたは自炊派(家庭)ですか？それとも外食派ですか？

■一人暮らしの場合

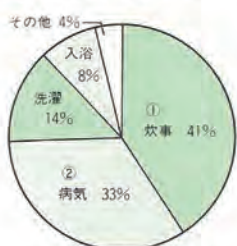


■自宅生の場合



やはり一人暮らしの学生は、どうしても外食に頼ってしまいがち。それでも、食事面では栄養バランス・野菜の摂取などを心掛けている学生が多いようです。

Q 親元を離れて暮らして、一番不便な時は、どんな時ですか？



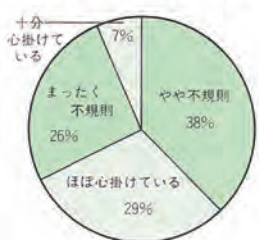
ご両親にとって、速く離れた一人暮らしの子供への心配は「ちゃんと食べているか。病気をしていないか」ということ。学生の結果も、親の心配と同じようです。学年別に見ると、2年生は

①と②の比率が35%で同率トップ。

学年が上がるにつれて、②の割合が上がってきます。やはり、一人暮らしで病気になると心細く、親のありがたみ、温かさを身にしみて感じることでしょう。

Q 毎日、規則正しい生活を心掛けていますか？

なんらかの形で、不規則な生活を自覚している学生は、全体の約6割となっています。その理由として、1年生は遊び、2～3年生はバイトとレポートに追われて忙しいことがあげられています。また、2年生の解答

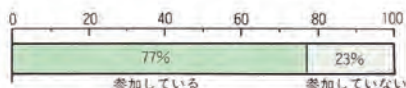


には、「一人暮らしだから」というものも多く、学生生活に慣れた気のゆるみも見られます。「無理をせず、よく食べ、よく寝て、よく遊ぶ」。これが武蔵工大生の健康の秘訣のようです。

〈学生生活編〉

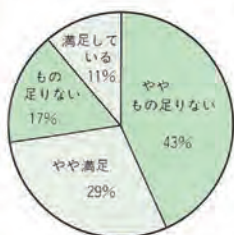
4年間、生活の中心となる学生生活について、率直な意見を聞いてみました。

Q 正規の授業以外に、特別に参加しているゼミ、課外活動、サークルなどがありますか？



Q 現在の学生生活に満足していますか？

充実した学生生活に欠かせない課外活動。そのサークルなどに参加している学生が8割近くいるにもかかわらず、「もの足りなさ」を感じている学生が半数を越えています。特に学内の設備面に対する要望が多く、より先進時代に対応するための設備投資を望むなど、学生の生活意識は高まっているようです。

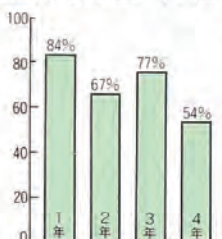


〈将来編〉

卒業してからの進路については、どのような考えをもっているのでしょうか。

現在、将来の夢をもっていると答えた学生は、(漠然とした夢も含めて)全体で8割を超えています。将来に向けて努力している堅実な学生が多いようです。

Q 就職する時に、学生時代に修得した知識・技能を生かしたいの問いには、



という結果になり、将来を考えて大学を選択している学生が多いことが分かります。

「将来に向けて取得したい資格」の問いでは、情報処理技術者、建築士、宅建、土木関連、電気通信関係など、工業大学らしい意見が数多く見られます。また、英検、ワープロなど、ポピュラーなものも取得したいようです。

〈武蔵工大の特色〉

「武蔵工大の自慢」の問いでは、各学年とも環境の良さをあげています。都内でありながら静かで、教育体制も整っており、勉強に打ち込めるという意見が多いようです。また、M.I.T祭、水素自動車や原子力研究所など、他大学にはない設備、研究室もあげられています。

「武蔵工大生の気質」の問いには、『真面目』が最も多く、以下『厳格』『質実剛健』『地味』と続いています。面白いところでは少数意見ですが『職人』というのもありました。これは専門技術者を養成する学校ということでしょうか。

以上、このアンケートを通して感じることは、武蔵工大生はバイトに追われながらも、予・復習に多忙な毎日を送っているようです。工科の単科大学のため、女子学生が少なく華やかさには若干欠けますが、地道に課題やレポートをこなす姿は真面目そのもの。まずは「学生の自分を貫く」という傾向が見られます。しかし、シビアな目でみれば、物事への積極的対応がもう少し欲しいところです。

さて、ご両親方のご意見はいかがなものでしょうか…。

武蔵工業大学後援会会則

(名 称)

- 第1条 本会は武蔵工業大学後援会と称する。
第2条 本会の事務所は武蔵工業大学内に置く。

(目 的)

- 第3条 本会は武蔵工業大学の教育方針に則り、大学と父兄との連携を緊密にして、子弟の修学、学生生活の向上を助け、その他大学を後援して、その発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

(事 業)

- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 1 大学の正課外教育活動に対する援助
 - 2 学生生活に対する援助
 - 3 大学と父兄との連絡
 - 4 会員相互の親睦
 - 5 その他、本会の目的達成に必要な事業

(会 員)

- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
- 1 正 会 員 工学部学生および大学院学生の父兄
 - 2 賛助会員 本会の趣旨に賛同し協力する者

(役員および評議員)

- 第6条 本会に、次の役員並びに評議員を置く。
- | | | | |
|-----|-----|---------|-----|
| 会 長 | 1 名 | 副 会 長 | 2 名 |
| 理 事 | 若干名 | 会 計 監 査 | 2 名 |
| 顧 問 | 若干名 | 評 議 員 | 若干名 |
- 第7条 会長および会計監査は評議員会において正会員の中から選出する。
2. 副会長は理事の中から会長が委嘱する。
 3. 理事は評議員会の議を経て正会員の中から会長が委嘱する。
 4. 顧問は評議員会の議を経て会長が委嘱する。
 5. 評議員は正会員の中から別に定める選出基準により会長が委嘱する。
- 第8条 役員および評議員の任期は1年とし、再選を妨げない。ただし、欠員が生じた場合、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(任 務)

- 第9条 役員の任務は次のとおりとする。
1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
 3. 理事会は会長の指示を受け会務を処理する。
 4. 会計監査は会計を監査する。

5. 顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じまたは必要に応じ会議に出席して意見を述べる。

(理 事 会)

- 第10条 理事会は理事をもって構成し、会長が必要に応じ、年1回以上招集して、次の事項を審議する。
- (1) 会務の処理に関する事項
 - (2) 評議員会に提案する議案
 - (3) その他会の運営に必要な事項
2. 会長は理事会の議長となる。
 3. 理事会は半数以上の出席(委任出席を含む)により成立し、議事は出席者の過半数の同意によって決定する。
 4. 会長は必要に応じて、大学の職員の出席を求め意見を聴することができる

(評議員会)

- 第11条 本会に最高議決機関として評議員会を置き、評議員をもって構成する。評議員会は年1回会長が招集し、次の事項を審議決定する。
- (1) 事業計画
 - (2) 予算、決算
 - (3) 会則の改廃
 - (4) その他の重要事項
2. 臨時評議員会は必要に応じ会長が招集する。
 3. 会長は評議員会の議長となる。
 4. 評議員会は半数以上の出席(委任出席を含む)により成立し、議事は出席者(委任出席を含む)の過半数の同意によって決定する。

(事 務 局)

- 第12条 本会に事務局を置き、会務を処理する。

(会 計)

- 第13条 本会の経費は、会費および寄付金その他の収入をもってこれにあてる。
- 第14条 正会員は会費を子弟の入学時に納入する。賛助会員の会費は年会費とし毎年年度初めに納入するものとする。
- 会費の額は評議員会でこれを定める。
- 第15条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
- 第16条 本会則に定めていない事項については、評議員会の審議により決定する。

付 則

1. この会則は昭和63年12月16日から施行する。

「武蔵工業大学後援会誌ネーミング」

(マイコム)
Mi-com

後援会誌は会員各位への情報伝達(Communication)のツールです。武蔵工業大学の愛称「MI-TECH」との関連づけで、武蔵工業大学後援会誌のネームを「Mi-com」といたしました。

発 行 武蔵工業大学後援会

住 所 千158 東京都世田谷区玉堤1-28-1
武蔵工業大学内 後援会事務局

電 話 03(703)3111